

令和8年度山梨大学医学部看護学科 学校推薦型選抜 I 試験問題用紙

小論文 I

【問】著者の考える「教養」に対するあなたの考えを600字以内で述べなさい。

次に「おいしいご飯を因数分解するとどうなりますか」と重ねて質問すると、「いろいろな材料を集めること」と「上手に料理すること」という答えが返ってきます。正しい解答だと思います。

では「おいしい人生」を因数分解するとどうなるか。答えはおいしいご飯と一緒に、いろいろな材料を集めることと、それらを上手に料理することです。

おいしい人生における食材とは「知識」であり、上手に料理する力は「考える力」です。まず、材料である知識がなかったら何もできません。ただし、材料を集めてもそれを人生において具体的に活用する考える力がなかったら、おいしい人生を楽しむことはできません。

以上をまとめれば「教養＝知識×考える力」という式になり、これはおいしい人生をおくるには必須のものです。

この式の右辺は時代によってウェイトが変化します。第二次世界大戦に敗北した後、復興のため「アメリカに追いつき追い越せ」でやっていた戦後の日本は、知識のウェイトが大きい時代でした。自動車や家電、電子製品といった製造業を中心に、先行しているアメリカにキャッチアップするには、それまでにない新しい発想やコンセプトを生み出す思考力より、既存の知識を吸収し、活用するほうが重要だったからです。

(中略)

僕は昔、わからないことがあると図書館に足を運び、分厚い百科事典を開いて調べていました。しかしいま、紙の百科事典に頼る人はおそらくあまりいないでしょう。ネットで検索すればすぐにわかるのですから。ウィキペディアも最近はかなりの精度があります。そう考えると知識や情報を取得するコストは昔と比べ、格段に低くなっています。

しかも社会の変化のスピードが速いので、知識はどんどん陳腐化していきます。そうなるとうちは考える力のウェイトが圧倒的に高くなっていくのは確実でしょう。時代が変化するスピードが速くなればなるほど社会常識を疑い、原点からものごとを考える力、即ち探究力が重要になってきます。

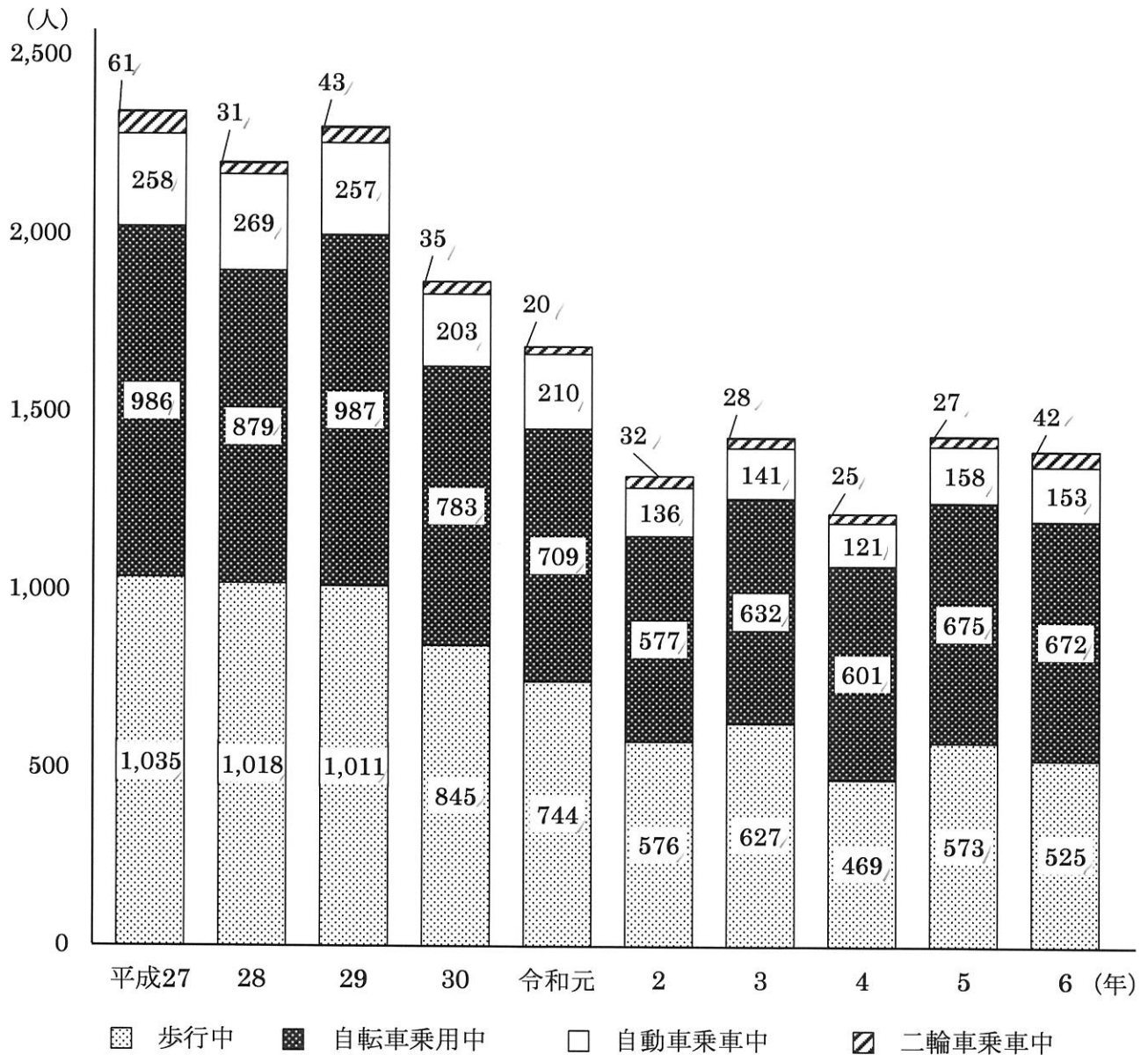
令和8年度山梨大学医学部看護学科 学校推薦型選抜 I 試験問題用紙

小論文Ⅱ

図は、令和7年版 警察白書において、15歳以下の子供の交通事故の状態別死者・重傷者数の推移（平成27年～令和6年）を表した資料です。以下の問いに答えなさい。

【問1】図から読み取れる特徴を100字以内で記述しなさい。

【問2】この図の特徴について、あなたの考えを500字以内で記述しなさい。



出典：「令和7年版 警察白書」（国家公安委員会 警察庁）図表5-13をもとに作図（一部改変）。
<https://www.npa.go.jp/hakusyo/r07/honbun/index.html>（2025年9月23日情報取得）

